

令和3年第1回八千代町議会定例会会議録（第2号）

令和3年3月4日（木曜日）午前9時02分開議

本日の出席議員

議長（8番）	中山 勝三君	副議長（6番）	廣瀬 賢一君
1番	谷中 理矩君	2番	関 眞幸君
3番	安田 忠司君	4番	増田 光利君
5番	大里 岳史君	7番	上野 政男君
9番	生井 和巳君	10番	大久保 武君
11番	水垣 正弘君	12番	小島 由久君
13番	宮本 直志君	14番	大久保敏夫君

本日の欠席議員

なし

説明のため出席をしたる者

町 長	野村 勇君	副 町 長	古宇田信一君
教 育 長	赤松 治君	会 計 管 理 者	杉山 淳君
秘 書 公 室 長	生井 好雄君	総 務 部 長	渡辺 孝志君
企画財政部長	青木 一樹君	保健福祉部長	大里 斉君
産業建設部長	木村 和則君	総 務 課 長	川村 俊之君
税 務 課 長	鈴木 衛君	まちづくり 推 進 課 長	馬場 俊明君
財 務 課 長	倉持 浩幸君	福 祉 課 長	飯ヶ谷智巳君
長寿支援課長	宮田 圭子君	国保年金課長 兼健康増進 課 長	野中 清昭君
都市建設課長	宮本 克典君	産業振興課長	古沢 朗紀君
上下水道課長	中川 貴志君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	飯岡 勝利君

教育次長兼
学校教育課長 小林 由実君 総務課主査 古橋 一裕君
財務課主査 山口富実子君

議会事務局の出席者

議会事務局長 岩坂 信幸 補 佐 鈴木 佳奈
主 査 山中 昌之

議長（中山勝三君） 引き続きご参集をくださいまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席議員数は14名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第2号）

令和3年3月4日（木）午前9時開議

- 日程第1 議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算
議案第13号 令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第14号 令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第16号 令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第17号 令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第18号 令和3年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算

（提案理由の説明）

（担当部長の概要説明）

（質疑、各常任委員会付託）

日程第2 請願上程（常任委員会付託）

日程第3 休会の件

-
- 日程第1 議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算
議案第13号 令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第14号 令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第16号 令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第17号 令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第18号 令和3年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算

議長（中山勝三君） 日程第1、議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算、議案第13号 令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第14号 令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第16号 令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第17号 令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第18号 令和3年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 野村 勇君登壇）

町長（野村 勇君） おはようございます。ただいま議長の許可を得ましたので、一括上程されました議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算、議案第13号 令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第14号 令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第16号 令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第17号 令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第18号 令和3年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算、以上8議案の提案理由をご説明申し上げます。

町政運営方針につきましては、議案と一緒に議員の皆様にお配りするところ、新計画との調整、あるいはコロナ対策の考慮に時間がかかりまして、本日お手元に配付させていただきました。よろしくお願いいたします。

最初に、令和3年第1回八千代町議会定例会において、予算並びに諸議案をご審議いただくに当たり、町政を担う責任者として、町政運営に関する所信と重点施策の概要について申し述べさせていただきます。

我が国は、2011年3月の東日本大震災により、自然災害としては史上最大と言われる経済損失を受け、復興途上でありました。

このような中、昨年は、100年に1度とも言われる新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が社会経済に大きな打撃を与え、さらに、これまで日本が積み上げてきた対面重視社会の構造的弱点を露呈することとなり、人々の生活習慣なども「新しい生活様式」へと大きく変化するに至りました。

当町で、新型コロナウイルスの陽性者が確認されたのは8月13日であり、その後、現在までに38人の新規陽性者が確認されています。罹患された皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げます。

感染拡大防止のため、ほぼ全てのイベントを中止し、3密を避け、不要不急の外出自粛や飲食店への時短営業の要請、マスクの着用など、我慢の生活スタイルをお願いし、ご協力をいただきました。この件につきましても、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

なお、コロナ対策は新たな局面を迎え、対策の要となりますワクチン接種へと移行しています。私といたしましても、地元医療機関との連携を強化し、正しい情報の周知や、ワクチン対策室を新設するなどの組織強化を図り、この難局を乗り越える努力を続けているところであります。

このような中、来年2月には「八千代町町制施行50周年」という節目の年になります。半世紀に及ぶ八千代町発展の歴史を振り返り、先人の方々の努力に感謝し、行政の新たな一歩を踏み出してまいります。また、あくまでコロナ収束と同時進行ではありますが、町を挙げて記念事業を盛大に敢行できますよう検討してまいりたいと思います。

さて、各施策を述べる前に、まず本町の財政状況についてご説明いたします。令和元年度決算における財政健全化法に基づく財政指標では、将来負担比率が69.9%、実質公債費比率が7.0%、国が定める早期健全化基準を大きく下回っており、健全な状況にあると言えます。また、財政力指数についても、0.03上昇し0.65を記録するなど、確実に財政状況は上向きになっていると言えます。

しかしながら、町税や各種交付金などの一般財源が減少する中、人件費をはじめ、扶

助費、維持補修費などの経常経費が増加し、これらの予算総額に占める割合を示す経常収支比率が98.8%と過去最大の数値となり、新たな特色のある事業を一般財源だけで行うには、若干脆弱な状況にあると言えます。

さらに、少子高齢化時代や人口減少、新型コロナウイルス感染拡大の経済活動への影響により、町税の大幅な増収は見込めず、今後は、地方消費税交付金や国税を原資とする地方交付税においても減少が見込まれることから、一般財源の減少が予想され、これまで以上に厳しい財政状況の中での町政運営となることが想定されています。

このような中におきましても、私としましては、八千代町が独自の発展を遂げるために、将来を見据え、ふるさと納税の強化や企業誘致等により積極的な自主財源の確保に努める一方で、行政改革による経費節減を行う、つまり収入を増やし支出をできる限り抑えるという考え方の下、その中で生み出された財源により、新たな取組に挑戦し、持続可能な活力ある、魅力あふれるふるさと八千代のまちづくりを目指す必要があるものと考えております。

私は、昨年9月に町長に就任いたしまして、公約の一つとしまして、農業の振興の「継承」を掲げるとともに、愛すべき郷土八千代町に新たな発展の種をまき、次世代にきちんと引き継ぐことを目指し、計画的なまちづくりを進めることとお約束いたしました。

来年度から始まります町の最上位の位置づけである八千代町第6次総合計画は、これまで述べた流れの中で策定され、町の将来像として「ともにつむぎ ひびきあう 協奏のまち やちよ」を掲げましたが、少子高齢化、人口減少という課題を突きつけられた中、まさに今後10年間の取組が重要であると申し上げてまいりました。伝統のコミュニティー活動に支えられた“人との関わり 地域との関わり 自然との関わり”を大切に紡ぎ、布を織り上げていくように、町民の皆様とともにまちづくりが仕上がる姿を思い描き、将来像に向けて努力したいと思います。

このような背景の下、令和3年度における町政運営の基本的な考え方と主要な施策について申し上げます。

町政運営の基本となるべきものでございますが、時代は今、大きな転換期を迎えています。社会経済環境の変化は加速度的であり、町民生活や行政を取り巻く環境も大きく変化しています。新型コロナウイルス感染拡大による影響に加えて、従来からの少子高齢化による人口減少という問題は、労働力不足や財政危機により、まちの活力を失うことに直結する非常に大きな問題であり、深刻化していると言えます。

しかし、その進行速度は、町の取組や努力によって変えることができると思います。私たちはこの変化に柔軟に適応し、不断に変わらぬ努力を続けながら、自ら切り開いていくことが求められています。この問題から目をそらすことなく、きちんと受け止め、これまでの先人たちの努力により育まれた農業・商業・工業、そして観光資源や自然災害に強いという恵まれた環境を将来のまちづくりに最大限活用していくべきであると考えております。

次に、八千代町第6次総合計画に定める5つの基本目標に沿って、令和3年度に取り組む主要な施策を中心に概要を申し述べます。

主な施策の概要として、最初に、「豊かな自然のなかで、安全・安心に暮らせるまち」についてであります。

豊かな自然・田園環境を守りながら、町民の誰もが安全に安心して、快適に暮らせるまちを目指します。

計画的な土地利用について、市街化区域では、土地区画整理事業の早期完成に努め、良好な居住環境の整備を進めるとともに、新たな工業用地の確保を検討してまいります。

また、市街化調整区域では、優良農地を保全しつつ、一定の土地利用が可能となるように、地域拠点等において地区計画を活用し、既存集落の維持活性化や地域の特性を生かした利便性向上を図ってまいります。

次に、暮らしやすい住環境について、空き家バンクによる空き家の利活用を進めるとともに、移住者への情報提供や転入者への支援を行うことにより、移住・定住の促進を図ってまいります。

また、公共交通の確保については、町民の移動の利便性向上を図るため、昨年、八菜まわ〜る号の運行を開始いたしました。引き続き、利用者の増加に向けて、利便性の向上に努めるとともに、公共交通会議において広域的な公共交通網の整備についても検討を進めてまいります。

次に、防災について、あらゆる災害から町民の生命・財産を守り、安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりを指針として、国土強靱化基本法に基づく国土強靱化地域計画の策定を進めてまいります。

また、消防団員の育成・確保による消防力の強化を図るとともに、近年多発している大規模自然災害に対し、防災倉庫及び備蓄品の整備や総合防災訓練の実施などを行い、防災施設・体制の強化に引き続き努めてまいります。

さらに、町民の憩いの場やふれあいの場としての役割はもとより、防災機能を兼ね備えた安全・安心な空間を確保するため、長寿命化計画に基づき、町民公園の改修工事を進め、適切な維持管理に努め、有効活用を図ってまいります。

主な施策の概要の2、「誰もが健康で、いきいきと暮らせるまち」についてであります。

住み慣れた地域の中で互いに助け合い、誰もが生涯を通して健やかに、いきいき暮らすことのできるまちを目指します。

まずは、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の体制を、関係機関と協議しながら早急に整備し、少しでも早く全町民が安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。

次に、高齢者福祉について、移動スーパーを実施いたします。買物困難者への買物支援を図るとともに、販売場所が高齢者の集いの場となることでコミュニティが形成され、高齢者の外出促進、孤独死の防止につながると考えております。また、八菜まわ〜る号を活用し、運転に不安のある高齢者の運転免許返納を促進してまいります。

主な施策の中の3、「未来につなぐ、八千代人を育むまち」についてであります。

八千代町の未来を担う子どもたちが、自ら考えて生き抜く力を身につけられるよう、町・地域全体で守り、支え、育てていくまちを目指します。

まず、子育て支援について、多様なニーズに対応し、誰もが安心して子育てできる豊かな環境をつくるため、子育て世代包括支援センターを設置するとともに、児童虐待対策を含め、子育て支援の拠点となる子ども家庭総合支援拠点を設置いたします。妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、子育て家庭へのサポート体制の充実を図ってまいります。

次に、学校教育について、子どもたちの安全・安心で快適な教育環境の充実に努めるとともに、人口減少や少子化などの本町を取り巻く社会経済情勢、町民の意向や思いなどを踏まえた上で、小中学校などの教育施設の在り方や適正な配置についての検討を進めてまいります。

また、英語教科指導主事の配置や英語検定受験チャレンジ補助などを引き続き行っていくことにより、国際的に活躍できる人材の育成確保を図ってまいります。

さらに、国が進めておりますGIGAスクール構想により、小中学生一人一人にタブレットを用意し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、最適化された教育の実現、及びICT教育での次世代人材育成を進めてまいります。

給食センターにおきましては、おいしく、食の安全と健康や食育にも配慮した給食の提供を行うとともに、業務の効率化や経費の削減、安定した給食の提供を図るため、適切な運営方法の検討を進めてまいります。

さらに、老朽化した中央公民館や総合体育館について、公民館活動や生涯学習の場及びスポーツ・レクリエーションの場としてだけでなく、交流の場としての施設整備について検討を進めてまいります。

主な施策の概要の4、「地域の特性を活かした、働きやすいまち」についてでございます。

八千代町の発展を支えてきた身近な産業の活性化や成長、産業間の連携などを図りながら、多様な働き方が実現できる、選択できるまちを目指します。

まず、農業の振興について、優良農地の保全や有効な土地利用に向けた施策の計画的な実施に向けて、農業振興地域整備計画の見直しを行います。

また、県と連携を図りながら若地区畑地帯総合整備事業を進め、生産性や作業効率の高い生産基盤の整備を進めるとともに、スマート農業への機械、施設の整備を進めてまいります。

さらに、来年度、茨城県において「全国担い手サミット」が開催されることから、当町におきましても、最も重要な課題である農業の担い手確保や育成に全力で努めるとともに、農産物や特産品の八千代ブランドづくりや、6次産業化による付加価値や収益性の向上を図ってまいります。「八千代町といったら農業」というような全国有数の地位にまで押し上げ、農業が町全体の活性化につながるような取組に努めてまいります。

次に、工業の振興について、企業の操業環境向上を図るとともに、新たな工業団地についても検討を進め、優良企業の誘致へと発展させてまいります。

次に、観光の振興について、グリーンビレッジや憩遊館、町民公園など既存の交流施設の充実を図るとともに、施設間の機能連携を強化し、ふれあい交流拠点としての機能向上を図ります。

また、鬼怒川堤防に整備されたサイクリングロードを活用したイベントを開催するなど、自然環境資源の新たな活用を検討してまいります。

主な施策の概要5、「みんなで創る魅力あるまち」についてであります。

八千代町に関わる全ての人々が、それぞれの立場で役割と責任を担い、互いに協力・協調しながら、まちづくりに取り組む、活気と魅力のあるまちを目指します。

まず、町民が主役のまちづくりについて、町民総参加による協働社会実現に向けて取り組んでまいります。

さらに、脈々と受け継がれた当町のコミュニティー活動は、既に多くの成果を生み出し、醸成されております。今後は、少子高齢社会や就業構造の変化などに対応した新たなコミュニティーの在り方についても検討を進めてまいります。

次に、誰もが平等な明るい社会について、第2次男女共同参画プランに基づく事業の展開により、男女が共に平等に活躍し、責任を担う男女共同参画社会の実現を目指し、審議会などで女性の積極的な登用に努めてまいります。

次に、多彩な交流の推進について、当町における外国人住民数は年々増加しており、町民と町内在住の外国人が気軽に交流できる多文化共生社会の実現を推進するとともに、国際交流や他自治体との文化交流を進めてまいります。さらに、大学と連携し、地域住民や各種団体との交流を通じ、地方創生施策の創出を目指し、官民学連携・協働事業に取り組む一方、地域おこし協力隊の活用についても検討を進めてまいります。

次に、デジタル社会への対応について、町税等の口座振替手続を簡便化するため、ペイジー口座振替の受付を開始するとともに、キャッシュレス社会に対応した環境整備を進めてまいります。

また、町公式ホームページやSNSを活用した情報発信、住民票などのコンビニ交付、マイナンバー制度を活用した電子申請の拡充など、さらなる町民の利便性向上に努めてまいります。

今後、デジタル化は都市基盤の脆弱な当町の生活環境を克服する手段として大いに期待できることから、積極的な推進をいたします。

次に、社会経済の変化と町民の多様なニーズに応え、適切かつ迅速な行政サービスを提供していくため、行政組織の再編を検討し、町民のための行政運営を進めてまいります。

また、安定的で持続可能な財政運営の実現のため、適正で公平な課税の強化や誘致した企業への操業支援、ふるさと納税の推進など、適切な財源の確保に努めるとともに、効率的かつ健全な行財政運営を進めてまいります。

以上、5つの柱に沿って、主要な施策について申し上げましたが、「八千代町第6次総合計画」は令和3年度を初年度とし、本町が将来に向けて持続可能な発展を遂げていくため、一つ一つ丁寧に取り組んでいく所存でございます。

来年度は、国を挙げてのオリンピック・パラリンピック開催や八千代町町制施行50周年の年であります。まちの将来像に掲げました「ともにつむぎ ひびきあう 協奏のまち やちよ」が表しますように、町民の皆様と議会、行政が一丸となり、活力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、令和3年度の町政運営方針とさせていただきます。

続きまして、令和3年度における各予算の概要を申し上げます。

これらの予算につきましては、先ほど申し上げました町政運営の基本及び施策の基本方針に基づいて編成したものでございます。お手元に予算書をご用意したいと思えます。

最初に、一般会計予算からご説明いたします。

表紙をめくっていただきまして、令和3年度の一般会計予算総額は歳入歳出それぞれ73億456万7,000円であり、前年度と比較し2億4,743万3,000円、3.3%の減額となっております。

次に、国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

青の表紙をめくっていただきたいと思えます。予算の総額は、歳入歳出それぞれ29億9,928万8,000円で、対前年度比1.6%、金額で4,769万6,000円の減となっております。

なお、この予算につきましては、令和3年2月19日に八千代町国民健康保険運営協議会に諮り、ご了承をいただいているところでございます。

次に、後期高齢者医療特別会計予算についてご説明いたします。

また、青の表紙をめくっていただきたいと思えます。予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億3,396万6,000円で、対前年度比6.4%、1,400万3,000円の増となっております。

次に、介護保険特別会計予算についてご説明いたします。

予算書をお開きいただきまして、青の表紙をめくっていただきたいと思えます。介護保険特別会計は、給付費を中心とした「保険事業勘定」予算と、地域包括支援センター運営による「介護サービス事業勘定」予算がございします。

「保険事業勘定」予算は、歳入歳出それぞれ18億3,768万2,000円で、前年度と比較し6,839万1,000円、3.9%の増となっております。

「介護サービス事業勘定」予算は、歳入歳出それぞれ455万円で、前年度と比較し14万9,000円、3.4%の増となっております。

続きまして、八千代中央土地区画整理事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

青の表紙を1枚めくっていただきまして、令和3年度の予算の総額は歳入歳出とも1億3,276万2,000円であり、令和2年度と比較し、4,355万5,000円、48.8%の増額となっております。

次に、農業集落排水事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

さらに、青の表紙をおめくりいただきたいと思います。予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億8,713万4,000円で、令和2年度と比較し、3,111万円、9.8%の減となっております。

次に、下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

さらに、青の表紙をおめくりください。予算の総額は、歳入歳出それぞれ4億6,088万4,000円であり、令和2年度と比較し、0.3%の減となっております。

次に、水道事業会計予算についてご説明いたします。

青の表紙をおめくりください。3条予算の収益的収入及び支出であります。収入総額を4億9,128万9,000円、支出総額を3億5,313万円としております。

次に、4条予算の資本的支出であります。支出総額を3億7,451万2,000円とし、資本的収入が資本的支出に対して不足する額3億7,451万2,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、建設改良積立金により補填いたします。

以上、一括上程されました一般会計73億456万7,000円、特別会計68億2,206万6,000円、一般会計・特別会計合わせまして、予算総額141億2,663万3,000円、前年度と比較いたしますと、9,093万5,000円、0.6%の増となっております各会計の予算について提案理由を申し上げましたが、詳細については各担当部長より説明がございます。慎重にご審議の上、原案にご賛同くださるようお願い申し上げます。説明とさせていただきます。

議長（中山勝三君） これより予算概要について関係部長からの説明を求めます。

最初に、議案第12号の予算概要について説明を求めます。

企画財政部長。

（企画財政部長 青木一樹君登壇）

企画財政部長（青木一樹君） それでは、議案第12号 令和3年度一般会計予算の概要につきましてご説明をさせていただきます。なお、金額は1,000円単位でございます。

それでは、ただいまご用意いただいております予算書のつづり、ご覧いただきたいと

思います。八千代町予算書の表紙の次のページをお開きください。こちらは令和3年度八千代町予算一覧表となっております。

一般会計予算の総額は73億456万7,000円、対前年度比で2億4,743万3,000円、3.3%の減となっております。また、特別会計の合計は、下から2段目の小計欄になりますが、68億2,206万6,000円で、各会計間で増減はございますが、全体では対前年度比3億3,836万8,000円、5.2%の増となっております。

一般会計、特別会計を合わせました八千代町全体の予算総額につきましては、一番下の合計欄にございますように141億2,663万3,000円、対前年度比で9,093万5,000円、0.6%の増となっております。

令和3年度の一般会計予算についてでございますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動への影響に伴い、町税等の減収、こちらが甚大かつ長期化することを想定しまして、一般財源ベースで対前年度比95%以内を原則とする一方、八千代町第6次総合計画の初年度であることから、財政状況を勘案いたしまして、施策の優先度等にも配慮しながら編成したものでございます。

それでは、説明に入らせていただきます。恐れ入ります。予算書の10ページお開きいただきたくと思います。こちらは歳入歳出予算事項別明細書となっております。このページを使いまして、歳入全般についての概要をご説明申し上げます。

最初に、1款町税におきましては、本年度予算額24億7,219万4,000円で、前年度より1億4,860万1,000円、5.7%の減となっております。新型コロナウイルスによる経済への影響を考慮しまして、個人町民税は11.7%、法人町民税は10.9%、固定資産税は1.1%、軽自動車税は1.2%、たばこ税は1.9%、そして入湯税につきましては48.8%と、全ての項目で減額を見込んでおります。構成比は33.8%でございます。

次に、2款地方譲与税、3款利子割交付金、4款配当割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款ゴルフ場利用税交付金、10款環境性能割交付金におきましては、地方財政計画、あるいは県の交付見込額等を勘案の上、計上してございます。

なお、9款の自動車取得税交付金につきましては、令和2年度に環境性能割交付金に変更となりましたので、廃目となっております。

この2款の地方譲与税から10款の環境性能割交付金まで、これら8項目の合計額は6億1,881万8,000円で、構成比は8.5%でございます。

続きまして、11款地方特例交付金、こちらにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金対応分、こちらが皆増となりまして、対前年度比で503.8%、3,908万7,000円増の4,684万6,000円で計上してございます。

次に、12款地方交付税におきましては、普通交付税が地方財政計画で前年度より5.1%の増額とされる中、令和2年国勢調査の人口減、こちらを考慮しまして、基準財政需要額において、個別算定経費、包括算定経費の減及び臨時財政対策債の振替増、こちらによりまして減しましたが、基準財政収入額における各種税収及び交付金の減がこれを上回り、14億1,042万6,000円になりました。これに特別交付税7,000万円を加えた地方交付税全体では、対前年度比2.8%、4,029万円増の14億8,042万6,000円で計上してございます。構成比は20.3%でございます。なお、基準財政需要額からの振替措置としまして、臨時財政対策債を別途、町債で4億522万1,000円、こちらを計上してございます。

次に、13款交通安全対策特別交付金につきましては、152万5,000円で、対前年度比で7.5%の増で計上してございます。

14款分担金及び負担金におきましては、民生費負担金の教育・保育給付利用者負担金によりまして、160万1,000円、5.6%減の2,719万円を計上しております。構成比0.4%でございます。

15款使用料及び手数料におきましては、西山工業団地水道施設使用料及び税関係証明等によりまして、対前年度比174万2,000円、5.5%減の2,980万8,000円で計上してございます。構成比0.4%でございます。

16款国庫支出金におきましては、都市公園安全・安心対策事業費補助金、障害者自立支援給付費負担金等の増額がございましたが、子ども・子育て支援整備交付金及び学校施設環境改善交付金等の減額によりまして、対前年度比3.4%、3,183万1,000円減の8億9,749万1,000円で計上してございます。構成比12.3%でございます。

続きまして、17款県支出金におきましては、令和2年度実施の国勢調査に係る委託金等が減額となったものの、令和3年度中に予定されています県知事選挙、衆議院議員総選挙及び県議会議員補欠選挙に伴う委託金等の増額によりまして、対前年度比1.1%、728万1,000円増の6億8,190万4,000円で計上してございます。構成比は9.3%でございます。

次に、18款財産収入は、前年度とほぼ同額の599万円で計上してございます。構成比0.1%でございます。

19款寄附金は、前年度と同額の1億5,000万2,000円で、ふるさと納税寄附金を計上してございます。構成比2.1%でございます。

20款繰入金におきましては、1億1,851万円を計上してございます。財源不足の対応といたしまして、財政調整基金から1億1,000万円、地域福祉基金から高齢者福祉事業に850万円を繰入れいたしますが、全体では対前年度比64.4%、2億1,417万1,000円の減でございます。構成比は1.6%でございます。

続きまして、21款繰越金は、昨年度と同額の1億5,300万円を計上いたしております。構成比2.1%でございます。

次に、22款諸収入は、自治総合センターコミュニティ助成金及び昨年10月に運行を開始しましたデマンド交通の利用料金等の増によりまして、対前年度比4.3%、637万2,000円増の1億5,314万2,000円で計上してございます。構成比は2.1%でございます。

歳入の最後でございますが、23款町債は、消防自動車購入事業債、小学校校舎トイレ改修事業債及び中学校施設改修事業債等の減はあるものの、臨時財政対策債の大幅な増によりまして、対前年度比24.7%、9,263万8,000円増の4億6,772万1,000円で計上してございます。

収入の性質別では、町税などの自主財源が31億983万6,000円で42.6%、交付金、補助金などの依存財源、こちらが41億9,473万1,000円で、57.4%でございます。

以上が歳入の概要でございます。

恐れ入ります。予算書の6ページ、7ページをお開きください。第2表、債務負担行為及び第3表、地方債として、それぞれ一覧表となっておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、歳出についてご説明をさせていただきます。少し飛びますが、予算書の28ページご覧いただければと思います。

まず、1款1項議会費でございます。議会費では、議員報酬等、人件費に関する予算が全体の93.1%を占めております。そのほか、ペーパーレス化やオンライン会議の実現に向けた取組としまして、タブレット端末の導入に関する費用として278万1,000円を計上してございます。これらによりまして、対前年度比2.7%増の1億1,799万4,000円でございます。

恐れ入ります。29ページをご覧ください。下段にございます2款総務費、1項総務管理費でございます。1目一般管理費におきましては、特別職及び一般職の人件費、及び

令和4年2月に本町が町制施行50周年を迎えますので、その交付金として500万円を計上してございます。

続きまして、32ページお開きください。下段にございます3目財政管理費におきましては、ふるさと納税推進に関する予算を新たな目として分離しましたので、大幅な減額となっております。

34ページをご覧ください。5目財産管理費におきましては、庁舎の維持管理に関する予算が主なものでございますが、町バスの管理に関する予算が令和3年度から財産管理費に計上されることとなりましたので、大幅な増となっております。

35ページをお願いいたします。下段の6目企画費におきましては、デマンド交通「八菜まわ〜る号」の運行経費及び下妻地方広域事務組合負担金が主なものでございます。

38ページをお願いいたします。10目コミュニティ推進費におきましては、行政区長、副区長への報償金、実行組合長報償金、行政区運営交付金及び自治総合センターコミュニティ助成金等が主なものでございます。

39ページをお願いいたします。12目OA化整備費におきましては、自治体クラウド導入による基幹系システムの共同クラウド化及び戸籍システム更改等により委託料が大幅な減となっております。

40ページをお願いいたします。18目防犯対策費は、防犯灯の電気代、委託料及び防犯カメラ設置工事請負費でございます。

41ページをお願いいたします。19目ふるさと納税推進費におきましては、これまで財政管理費において管理していたものを、新たな科目として計上したもので、皆増でございます。

これらによります総務管理費は、計の欄にございます対前年度比2,386万4,000円、2.5%増の9億8,972万円でございます。

続きまして、2款2項徴税费でございます。職員16名の人件費及び町税過誤納還付金、各種業務委託料が主な内容でございますが、今年度は税納付の口座振替を推進するための予算も計上しており、対前年度比497万2,000円、3.8%増の1億3,461万9,000円でございます。

43ページをご覧ください。下段にございます2款3項戸籍住民基本台帳費でございます。予算に占めます84.6%が人件費で、個人番号、いわゆるマイナンバーカード関連の事務交付金等により、対前年度比668万4,000円、10.2%減の5,883万2,000円でございます。

す。

45ページをお願いいたします。2款4項選挙費でございます。令和3年度は衆議院議員総選挙、知事選挙及び県議会議員補欠選挙が予定されており、対前年度比2,869万8,000円の大幅増となります2,943万3,000円でございます。

47ページをお願いいたします。2款5項統計調査費でございます。昨年度に実施されました国勢調査により、対前年度比703万5,000円、46.0%の大幅減となります826万2,000円でございます。

48ページをお願いいたします。2款6項監査委員費におきましては、前年度とほぼ同額の40万2,000円でございます。

続きまして、49ページをお願いいたします。2款7項交通安全対策費でございます。対前年度比166万4,000円、9.6%増の1,894万8,000円でございます。

続きまして、50ページをご覧ください。中段にございます3款民生費、1項社会福祉費でございます。1目社会福祉総務費は、職員12名の人件費、町社会福祉協議会負担金及び国民健康保険特別会計への繰出金が主なものでございます。

51ページをお願いいたします。下段の2目老人福祉費は、本年度より運行を開始します移動スーパー運行委託料、利根老人ホーム運営負担金、老人保護措置費及び介護保険特別会計への繰出金が主なものでございます。

53ページをお願いいたします。3目国民年金費は、主に職員1名分の人件費及び国民年金システム改修業務委託料でございます。

4目医療福祉費は、医療福祉費審査支払手数料及び19節扶助費の医療福祉費でございます。

54ページをお願いいたします。6目老人医療費は、後期高齢者医療給付費町負担金、後期高齢者医療広域連合市町村負担金及び後期高齢者医療特別会計への繰出金でございます。

55ページをお願いいたします。8目障害者福祉費は、障害者自立支援給付費、障害児自立支援給付費等、19節扶助費に記載されているとおりでございます。

これらによります社会福祉費は、56ページの計の欄にございます対前年度比1,040万8,000円、0.7%増の15億6,583万3,000円でございます。

続きまして、3款2項児童福祉費でございます。1目児童福祉総務費は、職員4名分の人件費、地域子ども・子育て支援事業委託料、出産子育て奨励金、多子世帯保育料軽

減事業費補助金及び保育補助者雇上強化事業費補助金等でございます。

57ページをお願いいたします。下段でございます2目児童措置費は、子ども・子育て支援教育・保育給付費、児童手当費等でございます。

これらによります児童福祉費は、58ページをお願いいたします、計の欄でございます対前年度比5,759万8,000円、5.0%減の11億90万2,000円でございます。

次の3款3項災害救助費は、座敷のみの計上でございます。

続きまして、4款衛生費、1項保健衛生費でございます。1目保健衛生総務費は、職員12名分の人件費及び茨城西南医療センター病院運営費負担金でございます。

恐れ入ります。60ページをお願いいたします。2目予防費でございますが、こちらは各種検診委託料及び予防接種委託料が主なものでございます。詳細につきましては、12節委託料の説明の欄をご覧くださいだければと思います。

3目環境衛生費は、下妻地方広域事務組合「ヘキサホール・きぬ」負担金が主なものでございます。

62ページをお願いいたします。4目母子保健費は、妊婦乳児健康診査委託料及び不妊治療費助成金が主なものでございます。

5目工業団地水道施設費は、西山浄水場及び八千代工業団地揚水施設管理委託料等が主なものでございます。

64ページをお願いいたします。6目保健センター管理費は、保健センターの管理運営費でございます。

これらによります保健衛生費は、計の欄でございます対前年度比1,721万8,000円、7.1%減の2億2,534万6,000円でございます。

続きまして、65ページをお願いいたします。4款2項清掃費でございます。対前年度83万3,000円、0.4%減の2億791万8,000円でございます。町指定ごみ袋の購入費、ごみ収集委託料及び下妻地方広域事務組合への負担金等が主なものでございます。

続きまして、5款労働費、1項労働費につきましては、座敷のみの計上でございます。

続きまして、6款農林業費、1項農業費でございます。1目農業委員会費は、農業委員及び農地利用最適化推進委員報酬、職員4名分の人件費、さらには農地流動化借り手助成金等が主なものでございます。

67ページをお願いいたします。2目農業総務費は、職員10名分の人件費が主なものでございます。

68ページをお願いいたします。3目農業振興費は、経営所得安定対策等推進事業費補助金、農地集積事業補助金及び儲かる産地支援事業補助金等が主なものでございます。

4目園芸振興費は、儲かる産地支援事業補助金及び農業用廃プラスチック回収処理負担金等、18節の負担金補助及び交付金の説明欄に記載されているとおりでございます。

70ページをお願いいたします。6目農地費は、職員3名分の人件費及び18節負担金補助及び交付金の説明欄に記載されております各種負担金、さらには農業集落排水事業特別会計への繰出金が主なものでございます。

72ページをお願いいたします。7目農業振興地域整備費は、農業振興地域整備計画書作成業務委託料が主なものでございます。

10目農業経営体活性化事業費は、農業人材力強化総合支援事業補助金及び強い農業・担い手づくり総合支援交付金等が主なものでございます。

13目農業構造改善事業費は、グリーンビレッジ公園管理委託料及び農村環境改善センター管理委託料等が主なものでございます。

これらによります農業費は、73ページの下段、計の欄にございます対前年度比1,200万8,000円、2.3%減の5億1,593万2,000円でございます。

続きまして、74ページをお願いいたします。7款1項商工費でございます。1目商工総務費では職員3名分の人件費及び夏まつり補助金、2目商工振興費では新型コロナウイルス感染症対策貸付金負担金、中小企業事業資金保証料補助金及び八千代町商工会補助金、3目観光費では観光プロモーション事業委託料等により、76ページをお願いいたします、こちらの計の欄にございます対前年度比1,205万2,000円、26.4%増の5,764万7,000円でございます。

続きまして、8款土木費、1項道路橋梁費でございます。1目道路橋梁総務費は、職員7名分の人件費及び道路台帳補正委託料が主なものでございます。

77ページをお願いいたします。2目道路維持費は、道路の維持補修に係る委託料及び道路排水等の工事請負費が主なものでございます。

78ページをお願いいたします。下段にございます3目道路新設改良費は、職員1名分の人件費及び町道道路改良工事請負費等が主なものでございます。

4目橋梁維持費は、点検及び設計委託、工事請負費でございます。

これらによります道路橋梁費は、計の欄にございます対前年度比5,648万6,000円、24.9%減の1億7,065万3,000円でございます。

続きまして、8款2項河川費でございます。こちらは鬼怒川等の排水樋管の点検委託料等で、前年度並みの予算計上でございます。

続きまして、80ページお願いいたします。8款3項都市計画費でございます。1目都市計画総務費は、職員2名分の人件費が主なものでございます。

2目土地区画整理費は、中央土地区画整理事業特別会計への繰出金が主なものでございます。

1つ飛びまして、4目都市公園管理費は、町民公園清掃管理業務委託料、中結城地区公園清掃管理業務委託料、町民公園外周フェンス設置替工事請負費及び町民公園長寿命化対策工事請負費が主なものでございます。

これらによります都市計画費は、82ページお願いいたします、下段、計の欄にございます対前年度比8,591万7,000円、63.5%増の2億2,112万7,000円でございます。

続きまして、8款4項下水道費でございます。こちらは対前年度比906万3,000円、3.9%増の2億3,926万円でございます。浄化槽設置整備事業補助金及び八千代町下水道事業特別会計への繰出金が主なものでございます。

続きまして、83ページをお願いいたします。9款消防費、1項消防費でございます。1目常備消防費は、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防費負担金でございます。

2目非常備消防費は、消防団員の報酬、退職報償金、費用弁償及び公務災害補償等共済基金負担金が主なものでございます。

84ページをお願いいたします。下段にございます3目消防施設費は、防災無線保守点検委託料、消防団員活動用装備品購入及び消火栓維持管理負担金等が主なものでございます。

85ページをお願いいたします。5目災害対策費は、国土強靱化地域計画策定業務委託料、こちらが主なものでございます。

これらによります消防費は、計の欄にございます対前年度比2,090万7,000円、5.7%減の3億4,645万3,000円でございます。

続きまして、10款教育費、1項教育総務費でございます。2目事務局費は、教育長及び職員8名分の人件費、英語指導助手派遣委託料、小中学校パソコン機器リース料及び学校指導主事派遣負担金等が主なものでございます。

89ページお願いいたします。3目学校活性化支援事業費は、会計年度任用職員の人件費が主なものでございます。

これらによります教育総務費は、計の欄にございます対前年度比471万5,000円、3.8%増の1億2,832万7,000円でございます。

続きまして、90ページお願いいたします。10款2項小学校費でございます。1目学校管理費は、各小学校の維持管理及び警備委託料、パソコンリース料等が主なものでございます。

2目教育振興費は、要保護・準要保護児童就学援助費等が主なものでございます。

なお、92ページお願いいたします。学校建設費、こちらにつきましては、小学校3校のトイレ改修工事の完了によりまして、廃目となっております。

これらによります小学校費は、計の欄にございます対前年度比1億3,792万2,000円、62.2%の大幅な減となります8,365万3,000円でございます。

続きまして、10款3項中学校費でございます。1目学校管理費は、中学校2校の維持管理及び各施設の点検業務委託料並びにパソコンリース料等が主なものでございます。

2目教育振興費は、理科教育等備品購入費及び要保護・準要保護生徒就学援助費等が主なものでございます。

なお、94ページをお願いいたします。3目の学校建設費につきましては、一中柔剣道場改修工事の完了によりまして、廃目となっております。

これらによります中学校費は、計の欄にございます対前年度比4,319万8,000円、40.7%の大幅な減となります6,299万7,000円でございます。

続きまして、10款5項社会教育費でございます。1目社会教育総務費は、職員12名及び会計年度任用職員の人件費が主なものでございます。

96ページをお願いいたします。2目公民館費は、施設の維持管理及び点検業務委託料が主なものでございます。

97ページをお願いいたします。3目文化財保護費は、埋蔵文化財発掘調査委託料が主なものでございます。

98ページをお願いいたします。4目歴史民俗資料館費は、施設の維持管理及び点検業務委託料が主なものでございます。

99ページをお願いいたします。5目生涯学習推進費は、子ども体験学習事業及び秋のイベント交付金等が主なものでございます。

100ページをお願いいたします。7目図書館費は、職員4名及び会計年度任用職員の人件費並びに施設の維持管理、点検業務委託料、さらには図書館資料購入費等が主なもの

でございます。

これらによります社会教育費は、102ページをお願いいたします、102ページの下段、計の欄にございます対前年度比1,282万2,000円、7.1%減の1億6,729万8,000円でございます。

続きまして、10款6項保健体育費でございます。1目保健体育総務費は、職員3名分の人件費が主なものでございます。

104ページをお願いいたします。2目体育施設費、3目海洋センター運営費、4目体育センター運営費及び5目運動公園管理費は、それぞれ前年度並みの計上でございます。

106ページをお願いいたします。6目給食センター施設費は、職員9名及び会計年度任用職員の人件費、給食賄い材料費及び施設の維持管理運営経費等が主なものでございます。

なお、給食センター建設費は、旧センターの解体工事完了によりまして、廃目となっております。

これらによります保健体育費は、108ページをお願いいたします、下段の計の欄にございます対前年度比6,550万6,000円、20.7%減の2億5,028万8,000円でございます。

次に、11款災害復旧費につきましては、各項ともに座敷のみの計上でございます。

続きまして、109ページをお願いいたします。12款公債費でございます。1目元金は、長期債の償還金でございます。

2目利子は、長期債及び一時借入金の利子でございます。

これらによります公債費は、110ページをお願いいたします、中段、計の欄にございます対前年度比580万6,000円、1.0%増の5億7,810万8,000円でございます。

続きまして、13款諸支出金でございます。こちらは座敷のみの計上となります。

次に、14款予備費につきましては、昨年度と同額の2,000万円の計上でございます。

なお、予算書の122ページからは債務負担行為及び地方債に関する調書、さらには本予算書、緑のファイルの末尾に資料1といたしまして予算関係資料を添付してございますので、後ほどご覧いただければと思います。

以上、一般会計予算の概要についてご説明申し上げましたが、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

議長（中山勝三君） 暫時休憩いたします。

（午前10時12分）

議長（中山勝三君） 休憩前に戻り、会議を再開いたします。

（午前10時31分）

議長（中山勝三君） 次に、議案第13号、議案第14号及び議案第15号の予算概要について説明を求めます。

保健福祉部長。

（「議長」と呼ぶ者あり）

議長（中山勝三君） はい。

14番（大久保敏夫君） 先ほど丁寧過ぎるほど説明してもらったから、簡潔に各部長に説明するように、各委員会に付託してあるのだから、よろしく頼みます。

議長（中山勝三君） はい。では、簡潔をお願いします。

はい。

（保健福祉部長 大里 斉君登壇）

保健福祉部長（大里 斉君） それでは、議案第13号 令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び議案第14号 令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、同じく議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算についてご説明いたします。

初めに、国民健康保険特別会計予算の概要についてご説明いたします。国民健康保険につきましては、茨城県が財政運営の責任主体となり、財政運営の安定化を図り、町は保険料の賦課、徴収、資格管理、保険給付の決定、地域における保健事業等を行っております。医療費の支払いにつきましては、県からの保険給付に必要な費用を全額交付され、県は市町村から国保事業納付金を徴収いたします。令和3年1月13日に県から国保事業納付金の試算額の提示を受け、この試算額に基づき、令和3年度の予算編成をいたしました。なお、令和3年度の国保税の課税限度額につきましては、令和2年度と同じ99万円で据置きとなっております。

それでは、予算書の資料の一番後ろにあります予算関係資料の資料ナンバー2に基づきましてご説明をいたします。1ページの表1、予算総括表をご覧くださいと思います。予算関係資料になります。一番後ろのほうの資料2です。

まず、予算総額でございますが、歳入歳出をそれぞれ29億9,928万8,000円とするものです。前年度と比較いたしますと、4,769万6,000円、1.6%の減となっております。

初めに、歳入からご説明申し上げます。1款国民健康保険税につきましては、7億3,331万5,000円で、前年度より4,350万1,000円、5.6%の減となっております。これは世帯数、被保険者数が年々減少していることと、県に納付する国保事業費納付金の額から算定し、計上したものでございます。

5款県支出金につきましては、20億5,846万9,000円で、前年度と比べまして884万9,000円、0.4%の増となります。これは主に医療給付費に係るもので、県がその医療給付費に必要な費用を町に交付することによるものでございます。

7款繰入金につきましては、一般会計などからの繰入れで、1億9,028万3,000円となり、前年度より1,189万5,000円、5.9%の減でございます。

8款繰越金につきましては、1,000万円で、前年度と同額でございます。これは前年度からの繰越金になります。

9款諸収入につきましては、721万5,000円で、前年度より114万9,000円、13.7%の減でございます。

続きまして、歳出について申し上げます。1款総務費につきましては4,758万円で、前年度より172万1,000円、3.5%の減でございます。主に職員人件費、役務費及び国保連合会への委託料支払いに関わるものでございます。

2款保険給付費につきましては、20億1,737万円で、前年度より99万6,000円の増でございます。これは過去の給付実績等により計上したものでございます。

3款国民健康保険事業費納付金につきましては、8億8,640万9,000円でございます。これは県の内示額により計上したものでございます。

4款共同事業拠出金につきましては、2,000円で、前年度と同額でございます。

5款保健事業費につきましては、3,222万3,000円で、前年度より71万3,000円、2.2%の減でございます。これは主に前年度に実施した第2期データヘルス計画の中間見直し事業完了によるものでございます。

7款諸支出金につきましては、570万3,000円で、前年度より849万9,000円の減でございます。主に交付金償還金の減によるものでございます。

8款予備費につきましては、前年度と同額の1,000万円を計上しております。

以上が歳入歳出の予算の概要でございます。

なお、下の円グラフは、歳入歳出予算額の構成比を示したもので、資料2ページ、被保険者と退職被保険者及びその合計額の1世帯当たり、1人当たりの医療費の推移、国

保税の現年度調定額の推移を表したものでございます。

3 ページは、一般分の保険税と賦課割合の状況及び世帯数、被保険者数の推移を表しております。後ほどご覧おきいただければと思います。

続きまして、令和3年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算の概要についてご説明いたします。

後期高齢者医療制度につきましては、茨城県後期高齢者医療広域連合が主体となり運営をしております。

資料は同じく、国保の資料の後ろの資料ナンバー3になります。1 ページをご覧ください。本年度の予算総額につきましては、歳入歳出それぞれ2億3,396万6,000円とするもので、前年度より1,400万3,000円、6.4%の増でございます。

まず、歳入から申し上げます。1 款後期高齢者医療保険料につきましては、1 億6,740万2,000円で、前年度より699万2,000円、4.4%の増でございます。主に保険料率の改定によるものでございます。

3 款国庫支出金につきましては、平成31年度に廃目整理いたしました。

4 款繰入金につきましては、6,187万4,000円で、前年度より688万9,000円、12.5%の増でございます。主に保険基盤安定繰入金の増によるものです。

5 款繰越金につきましては、前年度と同額の100万円を計上しております。これは前年度からの繰越金でございます。

6 款諸収入につきましては、368万9,000円で、前年度より12万2,000円、3.4%の増でございます。

続きまして、歳出について申し上げます。1 款総務費につきましては、1,266万6,000円で、前年度より8万3,000円、0.7%の増でございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金につきましては、2 億2,008万9,000円で、前年度より1,392万円、6.8%の増でございます。後期高齢者医療広域連合からの推計資料により計上いたしております。

3 款諸支出金につきましては、保険料還付金など21万1,000円を計上しております。

4 款予備費につきましては、前年度と同額の100万円を計上しております。

なお、下の円グラフは、歳入歳出予算額の構成比率を示したものです。

2 ページには、年度別被保険者数と年間医療額などを表とグラフにより表示しておりますので、こちらも後ほどご覧おきいただければと思います。

続きまして、議案第15号 令和3年度八千代町介護保険特別会計予算関係の概要についてご説明をいたします。

介護保険特別会計は、保険給付費を中心とした保険事業勘定と介護予防に係る地域包括支援センターの事業を主なものとする介護サービス事業勘定の2つの予算がございます。資料は同じく、ナンバー4になります。

まず、保険事業勘定から主なものについてご説明を申し上げます。1ページ、表1の総括表をご覧ください。歳入歳出予算総額は18億3,768万2,000円となり、前年度と比較いたしまして、6,839万1,000円、3.9%の増となっております。

歳入からご説明申し上げます。1款の保険料は3億9,100万円で、前年度実績により見込み、前年度と比較し800万円、2.1%の増となります。

3款国庫支出金は3億7,327万2,000円で、前年度と比較し2,385万5,000円、6.8%の増となります。

4款支払基金交付金は5億918万8,000円で、前年度と比較し3,908万6,000円、8.3%の増となります。

5款県支出金は2億6,018万4,000円で、前年度と比較し1,892万4,000円、7.8%の増となっております。

7款繰入金は2億9,558万円で、前年度と比較し1,846万円、5.9%の減となります。

8款繰越金は841万5,000円を計上しております。

続きまして、歳出について申し上げます。1款総務費は5,140万円で、人件費や委託料の減額により、前年度と比較し577万6,000円、10.1%の減となります。

2款保険給付費は16億9,015万円で、給付実績により居宅介護サービス給付費や高額介護サービス等費、特定入所者介護サービス費等の増額により、前年度と比較し7,862万7,000円、4.9%の増となります。

4款地域支援事業費は7,551万6,000円で、人件費等の減により、前年度と比較し456万円、5.7%の減となります。

7款諸支出金は1,061万3,000円を計上しております。社会保険診療報酬支払基金への償還金1,000万円のほか、保険料の過誤納還付金等を計上いたしております。

8款予備費につきましては、前年度と同額の1,000万円を計上しております。

なお、下の円グラフは、歳入歳出予算額の構成比を示したものでございます。

続きまして、2ページをご覧くださいいただければと思います。2ページ、表2は、保険給付

費について、平成29年度から令和元年度までの決算、令和2年度決算見込み、令和3年度予算までの推移でございます。令和元年度決算と令和3年度予算を比較しますと、9.3%の増となっております。

表3は、地域支援事業費の推移でございます。

3ページをご覧ください。表4は、居宅サービス及び施設サービスの利用状況でございます。

表5は、保険料収入の徴収区分別推移となっております。

次に、4ページをご覧ください。表6は、第1号被保険者の段階別保険料月額と年額の内訳となっております。7期計画から所得段階区分が第1段階から第3段階の低所得者層に対する保険料負担額軽減措置を実施いたしております。

表7は、令和3年度保険料収入を見込むに当たっての所得段階別第1号被保険者数内訳でございます。基準額となる第5段階は、全体の16.3%となっております。

表8は、介護給付費準備基金の積立額の推移となっております。

次に、5ページをご覧ください。表の9は、各年10月末現在における介護度別認定者の推移でございます。

次に、サービス事業勘定についてご説明をいたします。表10をご覧ください。介護予防に係るサービス事業勘定に関する総括表でございます。歳入歳出予算総額は455万円で、前年度と比較し14万9,000円、3.4%の増となっております。

歳入からご説明を申し上げます。1款サービス収入、介護予防支援サービス計画収入で、実績見込みから434万9,000円を計上しており、前年度と比較し14万9,000円、3.5%の増となっております。

2款繰越金は、前年度と同額の20万円を計上しております。

次に、歳出について申し上げます。1款事業費は、介護予防サービス計画作成委託料ですが、実績見込みから430万円を計上しております。前年度と比較し14万9,000円、3.6%の増となっております。

2款諸支出金は、保険事業勘定への繰出金ですが、前年度と同額の20万円を計上しております。

3款予備費は、前年度と同額の5万円を計上しております。

以上が令和3年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び八千代町後期高齢者医療特別会計予算、八千代町介護保険特別会計予算の概要でございます。ご審議のほどよろし

くお願いします。

以上です。

議長（中山勝三君） 次に、議案第16号、議案第17号、議案第18号及び議案第19号の予算概要について説明を求めます。

産業建設部長。

（産業建設部長 木村和則君登壇）

産業建設部長（木村和則君） それでは、産業建設部の令和3年度特別会計等予算概要につきましてご説明申し上げます。

初めに、議案第16号 令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要につきましてご説明いたします。

お手元の予算関係資料ナンバー5の予算概要書をご覧ください。令和3年度の歳入歳出予算は、それぞれ1億3,276万2,000円、前年度と比較いたしまして4,355万5,000円、48.8%の増でございます。

次に、主な歳入予算につきましてご説明いたします。表上段の歳入予算についてでございますが、1項事業収入100万2,000円、前年度と比較しまして37万6,000円の増で、保留地処分金2区画の分割納入金を見込んでおります。

2項国庫支出金3,050万円、前年度と比較いたしまして2,240万円の増でございます。第1工区における区画道路の実施設計業務及び工作物移転補償費が国庫補助の対象となっておりますので、補助対象事業費の50%を計上したものでございます。

3項繰入金6,789万5,000円、前年度と比較いたしまして31万6,000円の増で、一般会計からの繰入金でございます。

4項繰越金596万3,000円、前年度と比較いたしまして26万3,000円の増でございます。

1つ飛びまして、6項町債2,740万円、前年度と比較いたしまして2,020万円の増で、国庫補助対象事業費の一般財源負担分の90%を借入れするものでございます。

続きまして、表下段の歳出予算につきましてご説明いたします。1項総務費1,997万9,000円、前年度と比較いたしまして26万9,000円の増で、職員の人件費等が主な内容でございます。

2項第1工区区画整理事業費7,332万1,000円、3項第2工区区画整理事業費144万6,000円、前年度と比較いたしまして4,709万8,000円の増でございます。第1工区における盛土整地工事及び工作物移転補償が増額の主な要因であります。

4項公債費3,601万6,000円、前年度と比較いたしまして381万2,000円の減で、地方債借入金の元金と利子の償還金でございます。

5項予備費200万円は、前年度と同額の計上でございます。

なお、裏面に歳入歳出の構成比及び令和3年度事業概要について掲載しておりますので、後ほどご覧おき願います。

以上が令和3年度八千代中央土地地区画整理事業特別会計予算の概要でございます。

続きまして、議案第17号 令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算の概要につきましてご説明申し上げます。お手元の予算関係資料ナンバー6の予算概要をご覧ください。

令和3年度の歳入歳出は、それぞれ2億8,713万4,000円、前年度と比較いたしまして3,111万円、9.8%の減でございます。

なお、予算額が減額となりました主な要因は、排水処理施設の機能診断事業及び最適整備構想策定業務の完了によるものでございます。

それでは、主な歳入予算につきましてご説明いたします。1項分担金及び負担金160万円、農業集落排水新規加入者の分担金を見込んだものでございます。

2項使用料及び手数料7,209万3,000円、前年度と比較いたしまして111万6,000円の減、農業集落排水施設の使用料でございます。

3項の国庫支出金は、機能診断事業等の完了により、皆減となるものでございます。

4項県支出金836万円、前年度と比較しまして893万6,000円の減、中結城東部地区に対する県交付金でございます。

6項繰入金1億8,297万7,000円、前年度と比較いたしまして1,115万8,000円の減、一般会計、農業集落排水事業基金及び町債償還準備基金からの繰入金でございます。

7項繰越金200万円、前年度からの繰越見込額でございます。

9項町債2,010万円、前年度と比較いたしまして210万円の増、資本費平準化債1,070万円、公営企業会計適用債310万円でございます。

次に、主な歳出予算につきましてご説明いたします。1項農業集落排水事業管理費1億404万円、前年度と比較いたしまして1,843万7,000円の減、排水処理施設の維持管理費等でございます。

2項農業集落排水事業費1,681万8,000円、前年度と比較いたしまして1,958万7,000円の減、職員の人件費、工事請負費等でございます。

3項公債費1億6,427万6,000円、前年度と比較いたしまして691万4,000円の増、長期債元金及び利子の償還金でございます。

なお、裏面の歳入歳出の構成比並びに実施事業の概要につきましては、後ほどご覧おきのほどお願いをいたします。

以上が令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算の概要でございます。

続きまして、議案第18号 令和3年度八千代町下水道事業特別会計予算の概要につきましてご説明申し上げます。

お手元の予算関係資料ナンバー7の予算概要をご覧願います。令和3年度の歳入歳出は、それぞれ4億6,088万4,000円、前年度と比較いたしまして138万6,000円、0.3%の減でございます。

なお、予算額が減額となりました主な要因は、公共下水道事業費の工事費の減によるものでございます。

それでは、主な歳入予算につきましてご説明いたします。1項分担金及び負担金864万2,000円、前年度と比較いたしまして286万8,000円の増、主に令和3年度に供用開始となる区域の受益者負担金でございます。

2項使用料及び手数料2,910万円、前年度と比較いたしまして198万円の増、主に下水道使用料でございます。

3項国庫支出金4,500万円、前年度と比較いたしまして1,850万円の減、社会資本整備総合交付金でございます。

5項繰入金2億3,394万円、前年度と比較いたしまして666万6,000円の増、一般会計及び下水道事業基金からの繰入金でございます。

6項繰越金200万円、前年度と比較いたしまして200万円の減、前年度からの繰越見込額でございます。

8項町債1億4,220万円、前年度と比較いたしまして760万円の増、内訳といたしましては、公共下水道事業7,120万円、特定環境保全公共下水道事業280万円、流域下水道事業3,010万円、資本費平準化債3,590万円、公営企業会計適用債220万円でございます。

次に、主な歳出予算につきましてご説明いたします。1項下水道総務費3,444万3,000円、前年度と比較いたしまして489万1,000円の減、職員の人件費、委託料及び各種負担金等でございます。

2項下水道管理費6,134万4,000円、前年度と比較いたしまして300万6,000円の増、施

設管理委託料、鬼怒小貝流域下水道維持管理負担金等でございます。

3 項公共下水道事業費 1 億3,442万9,000円、前年度と比較しまして1,892万6,000円の減、工事請負費、補償費等でございます。

4 項流域下水道事業費3,221万9,000円、前年度と比較いたしまして1,456万4,000円の増、鬼怒小貝流域下水道事業建設負担金でございます。

6 項公債費 1 億9,744万8,000円、前年度と比較しまして486万1,000円の増、長期債元金及び利子の償還金でございます。

なお、裏面の歳入歳出の構成比並びに実施事業の概要につきましては、後ほどご覧おきのほどお願いをいたします。

以上が令和 3 年度八千代町下水道事業特別会計予算の概要でございます。

続きまして、議案第19号 令和 3 年度八千代町水道事業会計予算の概要につきましてご説明申し上げます。

お手元の予算関係資料ナンバー 8 の予算資料をご覧願います。1 ページをお開きください。左側の 1 は、水道事業の概況でございます、後ほどご覧おきのほどお願いいたします。

右側の 2 は、令和 3 年 1 月 31 日現在の給水状況でございます。給水件数6,118件、給水人口2万1,729人でございます。

2 ページをご覧願います。3、水道事業会計予算の推移状況でございますが、平成26年度から令和 3 年度における予算の推移状況でございます。後ほどご覧おきのほどお願いいたします。

3 ページをお願いします。4、水道事業企業債明細書でございますが、発行総額の合計が 2 億4,890万円、未償還残高につきましては 1 億1,265万758円でございます。

4 ページをご覧願います。5、令和 3 年度水道事業会計予算総括表でございます。まず、3 条予算、営業関係の概要につきましてご説明申し上げます。

左側、収入の表をご覧ください。主な収入予算でございますが、1、営業収益 4 億 6,998万2,000円、前年度と比較いたしまして2,169万3,000円の増、水道料金、量水器使用料、消火栓維持管理負担金等でございます。

2、営業外収益2,130万5,000円、前年度と比較いたしまして788万5,000円の減、長期前受金戻入等でございます。

3、特別利益は2,000円でございます。

収入合計 4 億9,128万9,000円、前年度と比較いたしまして1,380万8,000円の増でございます。

右側、支出の表をご覧ください。主な支出予算でございますが、1、営業費用 3 億2,495万4,000円、前年度と比較いたしまして4,181万2,000円の減でございます。

内訳といたしましては、(1)、原水費9,946万2,000円、県西用水の受水費、動力費、修繕費等でございます。

(2)、浄水費5,757万円、修繕費、委託料、動力費、薬品費等でございます。

(3)、配水費3,128万円、修繕費、委託料、動力費等でございます。

(5)、総係費6,120万9,000円、職員人件費、業務委託料等でございます。

(6)、減価償却費7,291万円でございます。

2、営業外費用1,817万5,000円、前年度と比較いたしまして22万2,000円の減、企業債支払利息、消費税及び地方消費税等でございます。

4、予備費は1,000万円の計上でございます。

支出合計 3 億5,313万円、前年度と比較いたしまして4,203万4,000円の減でございます。

5 ページをご覧ください。4 条予算、建設関係の概要につきましてご説明申し上げます。4 条予算の収入計上はなく、支出予算のみの予算計上でございます。

1、建設改良費 3 億5,908万2,000円、前年度と比較いたしまして 2 億7,843万2,000円 の増でございます。

内訳といたしまして、(1)、施設費 3 億5,450万6,000円、委託料、工事請負費でございます。

(2)、資産購入費457万4,000円、量水器購入費でございます。

2、企業債償還金1,043万円、企業債元金の償還でございます。

3、予備費は500万円の計上でございます。

支出合計 3 億7,451万2,000円、前年度と比較いたしまして 2 億7,865万5,000円の増でございます。

なお、増額となりました主な理由は、建設改良費において、令和元年度に実施いたしました耐震診断に基づきまして、1号配水池の耐震化工事を計上したことによるものでございます。

3 条予算と 4 条予算の総収入合計が 4 億9,128万9,000円、前年度と比較いたしまして 1,380万8,000円の増でございます。

3条予算と4条予算の総支出合計が7億2,764万2,000円、前年度と比較いたしまして2億3,662万1,000円の増でございます。

なお、4条予算の収入不足分につきましては、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度及び当年度分の損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填するものでございます。

6ページ、7ページの収入支出の構成比並びに事業概要につきましては、後ほどご覧おきのほどお願いをいたします。

以上が産業建設部関連の令和3年度特別会計等予算の概要でございます。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

議長（中山勝三君） 以上で関係部長の予算概要の説明を終わります。

これから質疑を行います。

なお、本件は関係する各常任委員会に付託する予定でありますので、質疑は要点のみ簡潔にお願いいたします。

質疑ありませんか。

14番、大久保敏夫議員。

14番（大久保敏夫君） 中央土地区画整理事業のほうで今説明いただきました、木村部長あったけれども、10ページ開いてくれる、中央土地区画整理事業ね。これで、工作物の移転、右の欄の下で、六千幾らか数字が、6,032万円の移転費用が計上されているのだけれども、これは部長、前一回、移転の話が合意に達したので予算をつけたけれども、何らかの理由でそれをやれないことになって、それで不用額にしたことがあると思うのよね。今回はそれがまた起き上がってきた、同一物件の中で起き上がってきたやつなのか、それとも新たに今回違う地権者というか、合意が達したので、新たにこの事業というものが計上されたのか、それをちょっとお聞きしたいのですけれども。

議長（中山勝三君） 産業建設部長。

（産業建設部長 木村和則君登壇）

産業建設部長（木村和則君） 議席番号14番、大久保敏夫議員の質問にお答えします。

今回の補償につきましては、議員がおっしゃる前回の6,000万円の、言ってしまいますと、6,000万円の補償が一回流れたという形があるのですけれども、あれとは全然別の補償となりまして、1工区内の2件、新たな補償が出てきたということで、ちょっと具体的に申し上げますと、吉村スタンドさんと、もう一人個人の方の補償の金額で、6,000万

円と32万円と分かれた補償になりますけれども、当時の6,000万円の補償とは全然別な補償ということになります。よろしくをお願いします。

議長（中山勝三君） そのほか質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（中山勝三君） これで質疑を終わります。

議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算から議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算まで8件については、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、各常任委員会に分割し、会議規則第46条第1項の規定により、3月11日までに審査を終了するよう期限をつけて付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（中山勝三君） 異議なしと認めます。

よって、議案第12号 令和3年度八千代町一般会計予算から議案第19号 令和3年度八千代町水道事業会計予算まで8件については、付託事項明細書のとおり各常任委員会に分割し、3月11日までに審査を終了するよう期限をつけて付託することに決定いたしました。

日程第2 請願上程（常任委員会付託）

議長（中山勝三君） 日程第2、本日までに受理した請願は、お手元に配付いたしました請願・陳情文書表のとおり、所管の常任委員会に付託いたしましたので、ご報告いたします。

日程第3 休会の件

議長（中山勝三君） 日程第3、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。議事の都合により、明日5日より8日までは休会にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（中山勝三君） 異議なしと認めます。

よって、明日5日より8日までは休会とすることに決定いたしました。

議長（中山勝三君） 以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

次会は、9日午前9時より本会議を開きます。
本日はこれにて散会いたします。

(午前11時11分)